

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価
考える子 心の美しい子 たくましい子	1 楽しく読む子 2 あいさつする子 3 元気に遊ぶ子	今年度も、コミュニティスクール運営委員の皆様より、授業参観や学校運営委員会を通して多くのご意見・ご評価をいただきました。職員が子どもたち一人ひとり丁寧に見取り、授業改善や学級経営に工夫を重ねている姿が伝わったとの声を多くいただきました。ICTの活用や掲示物・環境整備など、学びを支える取り組みが着実に進んでいることも評価されました。 子どもたちについては、校内での元氣な挨拶や、思いやりのある関わり、休み時間に体を動かして遊ぶ姿など、成長が見られるとのご意見をいただきました。一方で、通学時の挨拶の個人差や落とし物の多さなど、生活面での課題も示されました。今後も継続して指導し、よりよい生活習慣の定着を図っていきます。 また、学校だよりやボランティア活動などを通して地域とのつながりが深まっているとの評価をいただき一方、地域と協働する機会をさらに広げてほしいという期待も寄せられました。学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てる環境づくりを、引き続き進めていきたいと考えています。 いただいたご意見を今後の学校運営に生かし、教育目標である「考える子」「心の美しい子」「たくましい子」の育成に向けて、教職員一同、力を尽くしてまいります。

分野	評価項目	評価の観点	学校関係者評価					
			A	B	C	D		
重点目標	① 全ての学びの基盤となる「読みの力」を意識した授業づくり			○			・先生方が、色々な工夫をしていることが分かった。 ・学校で会うと、元気に挨拶をしてくれる。 ・人見知りをする子が、まだ多い。 ・校内での挨拶はそれなりにできているが、外(通学時等)での挨拶は個人差大きい。意識づけが大事。	
	② あいさつを通して心と心をつなぐ活動			○				
	③ 遊びや体を動かすことを通して、心身の充実をはかる		○					
教育活動	学習指導	学習の基本	教師見の授業づくりや、子どもたちの学びに向かう姿		○			・教室の整理整頓、掲示物での子どもひとりひとりの位置づけ、本児のねらいの明確化等、教師の、良い授業をしようとする基本姿勢が感じられる学級が増えていると感じました。 ・それぞれの先生方が工夫されていると感じる。 ・先生方が、ひとりひとりよく見ている。 ・授業に向かう姿勢がよかった。創意工夫・先生の持ち味・前向きさなど。 ・授業展開には、どうやら見通しがあった方がよい授業、ない方がよい授業がありそうだ。 ・集中するまでに時間がかかりすぎる箇所あり。普段からできていないのでは、 ・先生方が、子どもたちを飽きさせないように、色々工夫しながら授業に取り組んでいると思います。 ・それぞれの先生方が工夫されていると感じる。 ・先生人数から比べると、子どもの人数が少し多いように思われます。
		多様な学習形態	学習形態(学びの場、学習形態)等	○				
	ICT活用	授業におけるICTの活用			○			・以前は、ICTを使いこなすことに抵抗が見られていたけれど、この頃は、それをツールとして学びを深める姿に驚かされています。知りたい情報自分できちんと調べ、考えを広げる姿が見えます。 ・少し、ICTに頼りすぎているように思う。
	その他	小中連携、登校指導、メディア教育、安全教育、性教育、各教室の廊下の掲示物、階段にある「学びのとびら」の活用			○			・階段に設置されている「学びのとびら」のコーナーは、とても意味のあるものが掲示されていて関心しています。これを、大勢の子どもたちが目にとめて、心に感じ取ってくれることを願っています。 ・参観の都度楽しみにして見ているが、工夫が感じられ、レベルも高くなっている。(絵画) ・子どもたちひとりひとりが、とても個性があって良いと思います。 ・特に1年生は、春に比べずつと落ち着いている。10月には昇降口に脱ぎっぱなしになっていた靴も、見当たらなくなった。
生活指導・学級経営	あいさつが響き合う学校	子どもたちの学校や地域での「あいさつ」の様子、児童会の取り組みの様子			○			・下校時に、先にあいさつしてくれた低学年児童がいた。あいさつ、少しずつ自分からできるようになってきている。 ・学級によっては、一斉に挨拶してくれ、私の声掛けに口々に明るく答えてくれました。「がんばってね」と言うと、また一斉に「ハイ」という声が返ってきました。こういう姿が増えてくれることを願っています。 ・学校では、みんな元気に挨拶してくれました。 ・低学年は人見知りをするが、高学年はきちんと挨拶できる。 ・通学時、こちらから声掛けするが、個人差が大きい。
		ところをつなぐ活動	授業の雰囲気や子どもたち様子			○		
	心身の健康	子どもたちの休み時間の様子や、放課後や休日の地域での遊び方などから評価。＜補足＞楽しみながら体を動かしたり、メディアとかかわりについて考えたりする活動(身体みがき体操、休み時間の延長、遊び場・遊び場の提供、楽しみながら行う体育、メディアコントロールワーク等)。			○			・休み時間に、校庭や中庭で元気に遊んでいる。 ・みんな、楽しそうに体を動かしていると思います。
学校運営	家庭との連携	家庭との関り PTA活動 スクールカウンセラーとの連携	授業の雰囲気や子どもたち様子。＜補足＞なかよし週間(6月)、なかよし月間(11月)を設定。週のはじめに「神川っ子」(朝15分)を設定し、教室・体育館・教室・神川っ子などでみんなで遊んで仲間作り。年3回相談ワークを設定し、子どもたちが相談できる場づくり。月に1回全職員で児童の情報交換。			○		・落とし物コーナーの物がとても多い。気になる。 ・自治会の活動への保護者の参加が少ないように思える。はやめの通知をお願いしたい。
	地域との連携	学校だよりやホームページ、地域でのPTA活動、子どもたちの様子。 ＜補足＞・「国分寺史跡公園全校清掃」「上田養護学校との交流」等を全校で行っている。・クラブ活動、学習支援、読み聞かせ、休み時間の遊びボランティアの皆様年間を通して支援していただいている。 ・山本鼎先生、国分寺(蘇民将来)等の学習に取り組んでいる。			○		・地域の人々にとって、「学校だより」はとても役立つと思います。子どもたちの学習や行事や生活の様子等を知ること、親しみも増えますし、応援しようと思えます。 ・ボランティア教室(ほっか)は、子どもたちが楽しんでくれていてうれしいです。片付けをしようとする子が少し出てきました。片付けだけでなく、人とのつながりや、思いやりなど、高学年の行動に期待しています。 ・山本鼎先生の「児童自由画」「農民美術」をはじめ、各種運動のスタートした神川小学校としての特性を生かした地域との交流と、次世代への伝承の活動を期待しています。 ・(「神川・山本鼎の会」「農民美術の尾澤・中村両先生」との連携等) ・休み時間の遊びボランティアに、子どもたちの親、祖父母に呼びかけをしていきたい。 ・自治会、PTAからのボランティアの呼びかけがないのが残念。 ・地域とのつながりをもっと作るべき。地域活動への学校の参加を積極的に行ってほしい。	
	研修	職員研修	以下のような職員研修を行っている。 ・職員会議での非違行為防止研修(学校長講話、非違行為防止研修)(外部講師)講演で学ぶ。 ・児童理解研修、ICT研修、地域素材研修等			○		・地域の人々にとって、「学校だより」はとても役立つと思います。子どもたちの学習や行事や生活の様子等を知ること、親しみも増えますし、応援しようと思えます。 ・ボランティア教室(ほっか)は、子どもたちが楽しんでくれていてうれしいです。片付けをしようとする子が少し出てきました。片付けだけでなく、人とのつながりや、思いやりなど、高学年の行動に期待しています。 ・先生方の年間の研修がすごいと思いました。 ・先生たちの負担を、少しでも軽減してほしい。

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった